

インフラメンテナンス国民会議は、持続可能で快適な都市・地域づくりを目指す上で重要な“施設管理者のインフラ維持管理の課題”と“民間企業の技術”のマッチングを目的とし開催されます。今年度もインフラ老朽化対策技術や再生・高度化ビジネスをはじめ様々な分野での最先端技術が集結しました。

近畿技術事務所は、災害発生直後のインフラ復旧作業において、安全な場所からバックホウを遠隔操縦する技術として、簡易遠隔操縦装置(ロボQS)を紹介し、ブースに訪れた来場者に遠隔操縦を見学していただきました。

■開催日時 : 令和8年5月21(木)、5月22日(金)

■場 所 : 大阪府大阪市鶴見区緑地公園2-2 花博記念公園鶴見緑地 ハナミズキ・付属展示場

### 対策本部車よりバックホウを遠隔操縦



### ラジコンバックホウ体験



### 来場者の声

・災害の多い日本において、危険な場所でも安全に作業ができる素晴らしい技術だと思いました。

・危険箇所での作業だけでなく、今後日本の人材不足を補える画期的な技術だと思いました。



近畿技術事務所 X  
URL : [https://x.com/mlit\\_kingi](https://x.com/mlit_kingi)

#### 【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
近畿技術事務所 技術活用・人材育成課  
〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11-1  
TEL072-856-1941(代表)

